

# 介護士クリニカルラダー

平成23年8月作成 平成27年1月改訂

|            | レベルⅠ(新人)   | レベルⅡ(2～3年目教育)  | レベルⅢ(4年目以降)   | レベルⅣ(リーダー教育)   |
|------------|--|--|---|--|
|            | マニュアルに沿って、あるいは部分的に指導を受けながら介護実践を身につける   | マニュアルに基づき、自立して介護実践が出来る<br>プリセプターの役割が出来る  | 経験に基づいた状況を全体として把握し、長期的見通しが持てる<br>介護実践において指導的役割が発揮できる  | わずかな手がかりで状況を直感的に把握し、問題領域に的を絞ることが出来る<br>リーダーシップがとれ指導が出来る  |
| 職能基準       | ① 施設の特種性と業務内容を理解できる<br>② 組織人として自覚を持ち、責任ある行動ができる  | ① チームメンバーとしての役割が理解できる<br>② 指導を受けながら、日々のリーダー業務が実践できる<br>③ 指導を受けながら、プリセプターとしての役割を果たせる<br>④ 新人に関心を持ち、コミュニケーションを図ることができる   | ① リーダー業務が自立できること<br>② チームリーダー、サブリーダーとしての役割が理解できる<br>③ 問題解決について対処できる   | ① 担当介護員としての役割モデルになれる<br>② チームリーダーの役割が果たせる<br>③ 後輩の指導ができる<br>④ プリセプターケアワーカーを支援できる   |
| 介護サービス実践能力 | ① 指導を受けながら、介護手順やマニュアルに基づいて、安全かつ正確に基礎的介護技術が実践できる<br>② ケアプランの意味・目的を理解したうえで、指導を受けながら担当受け持ちとしての役割を理解できる<br>③ 緊急時は指導を受けて行動できる<br>④ 感染対策マニュアルに沿って指導を受けながら行動できる<br>⑤ 介護事故の怖さを理解し、安全についての確認を求ることができる<br>⑥ 災害発生時、指導に従い行動できる | ① 顕在化している問題を明確にし、指導を受けながら自立支援の理念を取り入れ、介護過程が展開できる<br>② 根拠に基づいて判断でき、利用者・家族の反応(言動、表情、行動)を見ながら安全、安楽に実践できる<br>③ マニュアルに沿って、緊急時の対応ができる<br>④ 院内感染マニュアルに沿って行動できる<br>⑤ 介護事故防止のために、利用者の動きに注意を払い、安全に気を配ることができる<br>⑥ 緊急、災害発生時、指示を受けながら行動できる | ① 身体的、精神的、社会的背景、潜在的問題、などアセスメント能力を高め、専門性の高い介護展開ができる<br>② 利用者の状況に合わせて、創意工夫した介護技術を用いて根拠をもった介護が実践できる<br>③ 自分のできる範囲を見極め、資源を活用し、介護に生かすことができる<br>④ 行った介護が利用者のニーズを満たしているか評価できる<br>⑤ 緊急発生時に支援を受けながら対応できる | ① 予測を踏まえた判断ができ、長期的展望に立った介護展開ができる<br>② 医療ケアや複雑な状況を判断、理解し、利用者が満足する介護実践ができる<br>③ 多職種との連携、アプローチを組み入れて介護実践できる<br>④ 利用者の急変、緊急事態にリーダーシップを発揮し対応できる<br>⑤ 行った介護を質的に評価できる |
| マネジメント能力   | ① 施設の特種性と業務の流れについて述べられる<br>② 施設の理念や目標が理解できる<br>③ 施設の目標達成のための活動に参加できる<br>④ 自己の職務および健康面の管理ができる<br>⑤ 1日の業務計画を立て、時間内に終了させることができる<br>⑥ 多職種との連携、内容を知ることができる<br>⑦ 施設内環境の不備や備品の破損などに気付き報告ができる                              | ① チームの目標達成に向けて割り当てられた役割を遂行できる<br>② 業務を効率良く一定の時間内に終了することができる<br>③ 環境、物品に気を配り、不備に対処することができる<br>④ チームメンバーと情報交換をする際に、プライバシーを守ることができる<br>⑤ コスト面を意識し、改善に向け意見を述べるることができる  | ① 目標についてチームリーダーを補佐し、自らも主体的に行動できる<br>② その日のリーダー業務を円滑に実施することができる<br>③ 環境や物品管理について改善につながる問題提起ができる  | ① チームリーダーの役割が果たせ病棟内を円滑に運用できるよう調整・行動が出来る<br>② チームの目標達成のために活動を推進することができる<br>管理に関する関連部門の役割を理解し、活動できる<br>③ 介護の質を保証した業務改善について建設的な意見を述べることができ、活動の推進ができる              |
| 人間関係能力     | ① 組織人としての接遇を身に付けられる<br>② 他者の考えや意見をよく聞き尊重できる<br>③ 自分の思いや考えを他者に伝えられる<br>④ 困っていること悩みについて同僚やプリセプターに相談できる<br>⑤ 自分自身の感情、思考、行動の傾向を知ることができる  | ① 自己の感情コントロールが意識できる<br>② 自分およびチームメンバーの立場や役割を認識し、相互に肯定的なかかわりができる<br>③ 新人に関心を持ち、話を聞くことができる   | ① 自己の感情をコントロールでき、相互理解を深めることができる<br>② 相手を尊重した気持ちの良い人間関係を築きながら自分の考えを話すことができる<br>③ 部署内スタッフ、多職種との連携がとれ現場で積極的に検討・提案できる   | ① チームリーダーおよびサブリーダーとしてチームメンバーの立場や人間性を尊重し、人間関係が調整できる<br>② 多職種との信頼関係を保ち調整できる  |
| 教育研究能力     | ① 施設の特種性と業務内容を理解できる<br>② 組織人として自覚を持ち、責任ある行動ができる<br>③ 自己の介護を振り返り、できること・できないことを明確にして、不足部分を学習できる<br>④ 介護に必要な知識について、マニュアルや新人ケアワーカーチェックリスト表に沿って主体的に学習できる<br>⑤ 日常の介護実践において介護とは何かを考えることができる                               | ① 自己の学習計画を立てて知識技術を高めることができる<br>② 疑問に対して主体的に学習し、実践に役立てることができる<br>③ プリセプターの役割を果たすことができる<br>④ 介護実践を通して、自己の介護観を表現できる   | ① 自分の介護課題を持って自己学習に取り組む<br>② 施設内外の研修を介護実践に生かすことができる<br>③ 介護職に必要な知識と技術を後輩に指導できる<br>④ 研究的姿勢を持つことができる   | ① 施設内外の研修に主体的に参加し、介護実践に生かすことができる<br>② 熟練された介護実践を他のメンバーに指導できる<br>③ 自己の専門性を目指し、研究テーマを見つけて取り組むことができる<br>④ 教育プログラムに指導者として企画運営することができる                              |
| 教育内容       | ① 新人オリエンテーション<br>② プリセプター方式により指導を受ける<br>③ 新人教育計画・新人ケアワーカーチェックリスト表を利用し、知識・技術の指導<br>④ 院内の勉強会に参加<br>⑤ 接遇教育<br>⑥ 定期的な面接による指導<br>⑦ 介護記録・監査  | ① 学習課題を明確にし、勉強会・研修会などに積極的に参加する<br>② 介護保険制度・自立支援<br>③ 認知症高齢者へのケア<br>④ 看取りの介護<br>⑤ ケーススタディー・介護研究とは<br>⑥ 介護倫理<br>⑦ メンバーシップ<br>⑧ コミュニケーションスキル<br>⑨ 介護記録監査  | ① 学習課題を明確にし、勉強会・研修会などに積極的に参加する<br>② リーダーシップ・面接技法について<br>③ ターミナルケア・急変時の対応<br>④ リスクマネジメント<br>⑤ 学会・院外研修の参加<br>⑥ 退院連携・調整・指導<br>⑦ 摂食嚥下の介護<br>⑧ 介護研究取り組み・発表<br>⑨ 介護記録監査                               | ① 学習課題を明確にし、勉強会・研修会などに積極的に参加する<br>② コーチング<br>③ ファシリテーター<br>④ アサーティブコミュニケーション<br>⑤ 判断・決定能力<br>⑥ 院内介護研究指導<br>⑦ 介護研究・発表   |
| 集合研修       | 介護士ラダー別勉強会(第3金) *個人目標とリンクする  | 全体勉強会  | 部署別勉強会  | 多職種連携  |
|            |  | ①接遇<br>②感染<br>③ 医療安全<br>④ 倫理<br>⑤ メンタルヘルス<br>⑥ 個人情報保護法<br>⑦ 院外研修・学会報告  | ① 症例リフレクション<br>② ケーススタディー<br>③ ODM配信講座の活用・問題  | ケアカンファレンス<br>NST<br>褥瘡対策委員会  |